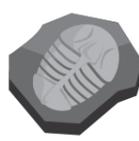




地質館だより



記録史上最も遅かった梅雨が明けて、毎日のように地質館でみかけたニホンアマガエルも徐々に見なくなりました。

両生類といえば、なぜ両生類にはウロコがないのか、不思議ではないでしょうか？**魚類** → **両生類** → **爬虫類** と進化してきて、なぜか両生類だけウロコがありません。

実は、両生類も昔はウロコを持っていましたが、呼吸を効率化するためにウロコを捨てたと言われています。

哺乳類や爬虫類みたいに、胸を膨らませて空気を吸い込むことが、両生類にはできません。

よくカエルが喉を膨らませているのを目にしますが、あれは空気を「飲み込む」ことで呼吸をしているのです。

空気を吸い込むことができない代わりに、両生類は皮膚呼吸を強化する道を選びました。体内に十分な量の酸素を皮膚から取り込むためには、ウロコはむしろ邪魔だったので捨てていったのです。さらに、今の両生類にはあまり大型のものがいませんが、これも小型化することで体重に対する皮膚面積を大きくしているのです。イモリの中には、皮膚呼吸だけで十分な酸素が取り込めるようになったので、逆に肺を捨ててしまったものまでいます。

佐川ではよく見かけるカエルたちにも、こんな秘密があったのです。

9月25日 12:00～12:10・15:00～15:10 展示解説「アンモナイトの進化」予約不要



令和3年度 牧野賞科学展・植物画展・科学研究発表会の開催のお知らせ

佐川町が生んだ牧野富太郎博士の業績を称え、町立6小中学校の児童生徒たちが日頃の科学研究の成果を発表する場として、牧野賞科学展・植物画展・科学研究発表会を開催いたします。

町立6小中学校からの選りすぐりの力作を展示、発表いたします。

どうぞ、ご家族おそろいでお越し下さい。

【牧野賞科学展・植物画展】

- 月日:10月7日(木)~10月17日(日)
- 時間:9:00~17:00
- 場所:佐川町立 桜座1・2Fロビー

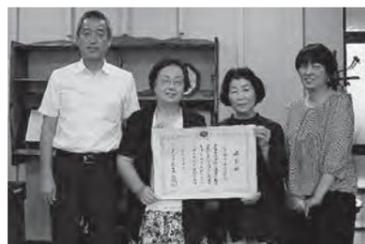
【牧野賞科学研究発表会】

- 月日:10月8日(金)
- 時間:13:20~16:30
- 場所:佐川町文化センター2階大研修室

☎ 教育委員会 電話 22-1110

祝 文部科学大臣表彰 佐川読みっ子応援団

「佐川読みっ子応援団」は、佐川町を中心に10年以上にわたり、乳幼児とその保護者への読書支援を行いながら、保育園や小中学校で読み聞かせや、図書委員へのアドバイスなどを実施し、子ども達の読書環境を整える活動に携わってきましたが、この度、文部科学大臣からその活動が顕著に優秀と認められ、4月23日付けで表彰、7月6日に町長から表彰状が伝達されました。長年のご貢献に対しまして心からお礼申し上げます。



チーム佐川 監督メッセージ No.79

～ひとりごと・つぶやき・ボヤキ～

「プラスの言葉は人を幸せにする！」

明るい、プラスの言葉は人を幸せにしてくれると思います。東京オリンピックのメダリストの言葉は、やはり感動しました。「諦めずに頑張る続けることで夢を叶えることができた。」とか、「すべての関係者に感謝をしています。」「これまで支えてくれたコーチや家族に感謝をしたいと思います。」など、みんなを幸せにしてくれ、言葉の力は大切だと改めて思いました。

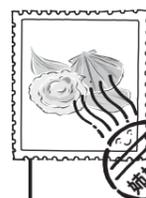
逆に残念なことに、多様性を尊重するオリンピックに関連して、女性

蔑視の発言で大きな問題となり辞任された方もいれば、インターネット上での誹謗中傷も含めて、パワハラやセクハラがクローズアップされる事態も見られました。やはり、「ありがとう」「お陰様で」「大丈夫だよ」など、プラスの言葉を拡散することが大切だと感じました。

ちなみに、私は社会人になってこの30年間、パワハラも一度もしたことはありませんので、町民の皆さんご安心ください。

チーム佐川 監督 堀見和道 (町長)

〇月〇日晴れ 京 堀見和道



ところニュース <北海道 北見市>

常呂高校「地域への提言」

- 常呂の魅力を知ってもらおう -

7月20日、常呂高校の3年生が常呂地域の4つの活性化策をまとめた「地域への提言」の発表会を開催。常呂自治区長に提案書を手渡しました。

サロマ湖などの観光資源を活かした活性化策の発表では、ドローンで撮影した雄大な景観の映像にアニメーションを組み入れ、常呂の魅力を紹介。趣向を凝らした発表を生徒たちは熱心に聞いていました。

